

- **音楽絵本の制作とコンサート開催**

子供たちの未来がよりよくあるために社会的な問題を解決していくことを目的とする川崎市の市民団体 **Miraiall かわさき**は「医療のエコ活動」をテーマとした音楽絵本「ポーリーとナーミーのまほうのステッキ」とテーマソングを制作し、音楽絵本コンサートを開催しています。2023年は4月、8月、10月に川崎市で、11月に名古屋市でコンサートを開催し、絵本の世界が広がる音楽絵本というツールを用いて、参加者の皆さんに医療資源の大切さやドラッグ・ロス問題について、情報発信しました。



- **小学生・中学生が日本の未来の医療について考える！**

未来の川崎市麻生区を担う小中学生で構成されている**麻生区 SDGs 推進隊**(一般社団法人サステナブルマップ)と保護者のみなさんと一緒に「SDGs×医療のエコを考える」というテーマで、未来の医療について考えました。未来のおくすりアイデアを考えるテーマでは、「くすりを服用しているが、1回で治るくすりがない」と等の意見があがりました。また、「医療のエコ活動」については、社会や困っている患者さんのために、自分の生活に落とし込んだ具体的なアイデアがあがりました。



- **川崎フロンターレのイベントに参加**

川崎市にある等々力競技場で川崎フロンターレゲーム前イベントに「医療のエコ活動を知ろう！応援しよう！」というブースが市民団体 Miraiall かわさきなどによって出展されました。来場された方には、パンフレットの配布と「医療のエコ活動」の紹介とあわせ、アンケートも実施されました。9割の方が、医療費の増大に伴うドラッグ・ロスを不安に感じ、重要な問題であると感じると回答し、ドラッグ・ロスや医療のエコ活動を知ることが、医療課題の重要性を感じ、解決に向けた意識・行動に繋がっていくことがわかりました。

